

# 関西学院大学に対する相互評価結果ならびに認証評価結果

## 全学的な視点

### 【評価項目】9 研究環境

#### 総 評

#### 三 長所の伸張と問題点の改善に向けての取り組み

##### 5 研究環境

研修機会として、長期・短期の留学制度、特別研究期間制度、自由研究期間制度が設けられている。教員の論文等の研究成果は、「研究業績データベース」に掲載し、ホームページで公表している。費用面を含めた研究環境の整備がなされ、各学部・研究科における研究活動は、総じてふさわしい成果をあげているため、ほぼ目標を達成するものとなっていると判断される。

科学研究費補助金をはじめとする外部資金の導入については、理工学部・理工学研究科においては、一定以上の水準にあり、文部科学省私立大学学術研究高度化推進事業等に採り上げられたテーマもある。また、社会学研究科においては、21世紀COEプログラムの採択拠点に選定され、いわば日本の実証的社会学のセンターとして、活動中である。今後は、先端社会研究所の設立により、海外の研究機関と研究協力体制をとっていく計画がある。

しかし、他の多くの学部・研究科においては、外部資金の導入に対し積極的姿勢があるとは言えず、応募を促進する方策の展開など、一層の努力を要する。